

講義、実習の概要

講座名	リスクコミュニケーション講座
題目	リスクコミュニケーション演習 □講義 ■実習
所要時間	4.5 時間
実施場所	原子炉特別研究棟 研修講義室 ■講義室 非管理区域 □第1種管理区域 □第2種管理区域
本講義のねらい	講義で得た知識を業務の中で役立てられるようにするため、リスクコミュニケーションで最も重要な「受け手への配慮」を考え、実施し、評価する演習を行う。
概要	福島事故後、特に困難になっている「放射線とそのリスク」について、状況と受け手の異なるケースを想定し、4～6グループで説明会の模擬を行う。受講者は、いくつかのグループに分かれ、JAEA が用意した説明資料集を用いて、与えられた状況と受け手に配慮した説明内容を作成する。説明グループ以外の受講者は、受け手側として説明を聞き、質問を行い、説明と質疑応答の仕方およびそれらが信頼にどのような影響を与えたかを評価する。最後に評価結果を示しながら、どのような説明や受け答えが信頼を高めるかを全員で振り返り、「リスクコミュニケーションの留意点」を共有し、相互学習する。
キーワード	受け手のニーズ、分かり易さ、応答、非言語コミュニケーション、信頼
使用する教材	講義資料（演習要領）、JAEA 説明会資料集、演習シナリオ集